

書名		美術	9 開隆堂
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○学習指導要領における美術科の目標に編集の基盤が置かれている。発達の段階に応じて系統的に構築された題材内容とともに、授業の目標、内容や方法、培いたい資質や能力を明解に整理して具体的に紙面に示しており、教科の目標を達成することができる教科書となっている。</p> <p>○生徒にとって、見やすく魅力的な画面で、学びやすいと同時に、活動の見通しを、振り返りの観点を通して自ら思考、判断する状況を設定したり、感性を豊かにするために自ら発想や構想を活かせる題材や幅広い活動が、生徒の自立を促しており、美術を通した人間教育の実現が図られている。</p>		
特 色	内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○発達段階を考えた題材におけるテーマを設けている。題材の理解を深められるよう参考作品を多く掲載し、基礎的・基本的な力がつくよう工夫している。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○図工から美術へ変わることに対しての問いかけを行い美術表現を考えさせている。色丸の中の問いを設け、思考力、判断力、表現力を育成するよう工夫している</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○題材ごとに観点評価に沿った振り返りを設けることにより、ねらいを深め目的意識を持たせるよう工夫している。</p> <p><対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫> ○小見出、緑色の丸の中に鑑賞のポイントを示して、感じ取る力の手助けをしている。「ふりかえり」を設けて学習の要点をわかりやすくする工夫がされている。</p> <p><創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫> ○題材ごとにキーワードを設け、それに沿った作品を紹介したり、ページの隅に技法を紹介している。巻末に技法を紹介している教科書とは大きく違う点である。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫> ○絵巻物の見せ方が斬新である。原寸ギャラリーのページをつくり、原寸大の感動を味わわせる工夫をしている。歴史的なものから現代作品まで幅広く取り上げている。</p>	
色	資 料	<p>○発想を促すためのヒントや技法、制作過程を写真や言葉等で示している。</p> <p>○巻末に cutter・はさみ・パレットの扱い方が載せられており、1年生に対する配慮が感じられる。</p> <p>○巻末「美術1」では9ページ、「美術2・3」では12ページ、色彩理論、表現技法、年表、鑑賞資料等を掲載している。</p>	
	表記・表現	<p>○題材名に活動のねらいを掲載、学習の振り返りを観点別に示している。基礎的な技法や習得させたい知識や題材に関する知識、情報を囲み記事で示している。</p> <p>○鑑賞のきっかけとなる問いかけや安全・注意に関する内容を色分けで示している。</p>	
総 括	<p>○「表現」と「鑑賞」に区別することなく、それぞれの題材の中で関連させている構成になっている。学習の観点別に自己評価できるよう全題材に「ふりかえり」を掲載している。教科書は、「美術1」「美術2・3」の2冊である。「美術2・3」では、デザインをP.65～P.95までとして、充実させている。</p>		

書名 項目	美 術 38 光 村	
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領と構成をそろえ、1学年と2、3学年とに分け、中学校美術科の目標や身につけるべき能力を示している。また、教科書全体の構成や各冊の内容をわかりやすく整理し、学習指導要領の目指していることが授業者にも生徒にもわかりやすく捉えられるよう工夫している。 ○感性を豊かにするために、日常で目にする美術の事例や実際に飾ったり使ったりする例を扱った題材を取り上げている。原寸大の作品を取り上りいれたり、見開きにしたり、実生活に生かすためのマークをつけるなどの鑑賞ページを通して、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。 	
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習を支えるページを設け、すべての領域の基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう工夫している。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「作者の言葉」や「みんなの工夫」を掲載し作品に対する理解、関心を持つような工夫が見られ、思考力、表現力を育成できるよう工夫している。 <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○Q を始め多くのマークを示し、適切な言葉で主体的に学習が進められるよう工夫されている。 <p><対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞の分野では、見開きを大きくとっている。作者が対象をどのような思いで対象を見つめたかを分かりやすく、感じ取りやすく表記している。「みんなの工夫」を示すことで、目的や意図を考えて発想や構想の能力を働かせる工夫をしている。 <p><創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学習を支える資料」のページを多くとり、資料集の役割も兼ね備えている。「みんなの工夫」として、制作途中の様子を写真で載せ、工夫することの大切さを伝えている。 <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○各題材ごとに目標や問いかけを設け、作品の良さや考え、味わう視点を示している。谷川俊太郎の詩を載せて（うつくしい）を」深く考えさせている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○一つのテーマから多種多様な作品例が具体的に示されている。資料や写真、作者のことで発想展開がスムーズにできるように工夫されている。 ○「学習を支える資料」では表現技法や用具、美術史年表など掲載され、資料集の学習内容が楽しめるような工夫がされている。 ○原寸大の作品例が載せられ、作品の大きさが想像しやすい。 	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生の最初のページで図工から美術への説明があり小中の連携を意識させている。また、身に付けさせたい力や学習のねらいを10項目で示している。生活と美術の関わりや作家の活動など、学習を深める内容をマークで示している。 ○学習のテーマを多くそろえレイアウトをコンパクトにしている。生徒作品やコメントが多く、生徒の目線で鑑賞できる。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○題材を「表現」と「鑑賞」に分けた構成となっている。巻末資料に、「学習を支える資料」を掲載し、技法や材料紹介、美術史年表が掲載されている。生徒の主体的な活動を支援するため、10項目のマークを使い学習のポイントを示している。教科書は、「美術1」「美術2・3」の2冊で、印刷もきれいである。 	

書名		美術	1 1 6 日 文
項目			
教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかわり	<p>○生徒の発達段階に即し、理解しやすい鑑賞作品や参考例を示した3分冊で、幅広い美的体験活動を取り上げ、系統的横断的に学習内容が整理されている。美術への主体的なかわりと、美術を通した人間形成を促す工夫がされている。</p> <p>○感性を豊かにするために、「自分」「他者」「生活・社会」「自然・環境」を見つめながら学習する題材を取り上げている。原寸大の作品を取り入れたり、紙質を変えたり、見開きにする、参照マークをつけて表現との関わりを示すなどの鑑賞ページを通して、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う工夫をしている。</p>		
特 内 容	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫> ○それぞれの単元で幅広い表現資料を取り上げ、知識・技能を習得しやすい工夫をしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○単元ごとに取り上げているテーマがわかりやすく生徒のやる気を引き出す工夫がある。「作者の言葉」を多数掲載し作品に対する理解、関心を持つような工夫が見られ、言葉の内容が、思考力、表現力を育成できるよう工夫している。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○題材ごとに観点別評価のねらいが示され振り返りながら学びのねらいに沿って学習を進められるよう工夫されている。鑑賞・技法のページで生徒の気持ちを引きつけるような資料を掲載している。</p> <p><対象を見つめ感じ取る力や想像力を高める工夫> ○「作者の言葉」を記載して、ものの見方感じ方を文章で表し、生徒が自ら主題を見つけやすくしている。浮世絵等の鑑賞資料では、紙質を変えて作品の印象を新鮮に伝える工夫をしている。</p> <p><創意工夫し美しく表現する技能を高める工夫> ○巻末に資料集的ページを設け、色彩や技法、道具について確認できるよう工夫されている。写真などは小さく扱い、少ないページでも内容は十分である。</p> <p><よさや美しさなどを味わわせる工夫> ○教科書サイズを大きくして資料のサイズも大きくなり迫力がある。作品を原寸大で掲載している。紙質がよく印刷も美しい仕上がりになっている。</p>		
色 資 料	<p>○三冊の教科書が色鮮やかで見ると人の興味をそそる。2・3年上では紙質を変え、実際の作品の手触りを実感できる。</p> <p>○A4サイズより大きく、他の教科書よりゆったりとした印象を受ける。</p> <p>○生徒のアイデアスケッチやメモ、言葉、情景写真等を示し、自分の制作に生かせるような発想から形にするまでのプロセスを掲載している。</p>		
表 記 ・ 表 現	<p>○「一枚の紙から広がる世界」「私が見つけた物語」タイトル名からやってみたく興味をそそり、作品の創造性が広がるタイトルである。</p> <p>○「生徒の言葉」で作品への思いを聞ける。学びのねらいでは、4観点を示し学習の手助けをしている。生活と美術の関わりや作家の活動など学習を深める内容や他教科との関連する部分を掲載している。</p>		
総 括	<p>○それぞれの分野ごとに「表現」と「鑑賞」のページを独立させた構成となっている。生徒の目線で発想や制作手順や技法が掲載されている。教科書は、「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊である。教科書のサイズも大きく、原寸大の作品を取り入れたり、「美術2・3上」では紙質も変え印刷もきれいである。</p>		